

久米島町の移住・定住促進における課題に対する対策案

島ぐらしコンシェルジュが移住・定住促進活動を行う中で、以下の課題が見えてきました。それぞれの課題は独立したものではなく、お互いに重なり、絡み合っているものですが、大きく「しごと」「住まい」「くらし」の3つのカテゴリーに分け、さらに対策案を掲げました。

移住・定住を促進するにあたり下記の課題から一つ以上選択し、問題点とあなたが考える解決策を述べてください。

参考資料は必要に応じて利用することとし、記述形式は任意とします。

1. 「しごと」に関する課題

安定した雇用、やりがいなど、移住・Uターンを促進する上で、しごとは重要な項目のひとつである。しかし、久米島町内の求人には限りがあり、職種・待遇面で求められているものがないことが移住・Uターンの障害の一つとしてあげられる。

【課題】

- ①専門性・スキルを活かせる仕事が少ない
- ②人手不足
- ③事業継承
- ④その他

2. 「住まい」に関する課題

住まいは、仕事と同じく移住・Uターンを検討する際の重要な項目のひとつである。久米島町には民間経営のアパートが約100棟あるが、不動産屋のホームページに掲載されている空室は少なく、希望の部屋を見つけることが難しい状況となっている。ペット可物件、広さ、一軒家等、住まいに関するニーズは多様化してきており、久米島町が移住・定住を促進する上で、これらに答えられる環境を整えることは重要であると考えている。

【課題】

- ①空き家はあるが活用ができていない
- ②空き地はあるが建築費が高い
- ③登記関係が不明瞭、未登記な空き家が多い
- ④その他

3.「ぐらし」に関する課題

何度も久米島を訪れている人でも、住んでみると観光で来ていた時とはまた違う印象を持つものである。それが心地よいと感じるか、不快と感じるかは、住んでみないとわからない部分が多く、移住・定住の障害になっていると思われる。

また、毎年100人規模で人口が減少しているという状況は、島の随所で活気を徐々に失わせている。

【課題】

- ①定住者支援の強化
- ②3年後に転出してしまう（3年の壁問題）
- ③空き店舗の利活用
- ④その他

■参考資料

- ・第2次久米島町総合計画（後期基本計画・第2次久米島町総合戦略）
- ・久米島町人口ビジョン
- ・久米島町空家等対策利用計画